

# フィックス窓 組立・施工・調整要領書

## 組立・施工の前に

この度は、まどまど®std/まどまど®plusをご採用いただきましてありがとうございます。  
この商品を正しく安全に組立・施工していただくため、この要領書をよくお読みの上、正しく作業を行ってください。

## 安全にお使いいただくために

この組立・施工要領書に示した注意事項は安全に関する重要な内容です。人身事故や財産の損害を未然に防止するため、次のような絵表示をしています。

内容をよく理解して本文をお読みください。

**注意** この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

**お願い** この記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。

「必ず行っていただく事」を示しています。

**注意** ●商品の組立・施工については必ず本説明書に従ってください。

**お願い** ●組立時、樹脂部材はアルミに比べて破損しやすい為、ハンマーで直接叩くと割れる恐れがあります。必ず、当て木を当ててください。  
●木額縁へ枠を取り付ける際、ねじの締めすぎに注意してください。

## 同梱部材・部品一覧表

●下表を参照の上部材・部品の有無を確認してください。

### ■枠部材(まどまど®std/plus共通)

名称	上枠	下枠	左縦枠	右縦枠
姿図				
入数	1本	1本	1本	1本

### ■部品バック

名称	気密材	ネジバック
姿図		
入数	2本	1set

### ■枠部材(まどまど®std)

名称	上框	下框	左縦框	右縦框
姿図		 	 	 
入数	1本	1本	各1本	各1本

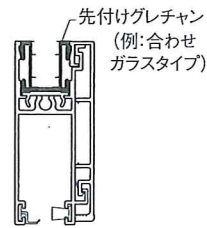
### ■枠部材(まどまど®plus)

名称	上框	下框	左縦框	右縦框
姿図		 	 	 
入数	1本	1本	各1本	各1本

※plusはたて框のみに把手が取付きます。  
※plus大型テラスたて框タイプは取手が取付きません。

## 組立の前に

1. 梱装箱から部材を取り出し、組上がり状態で並べ、組み合わせ部材の有無を確認してください。→基本図参照
- ・部材は室内側、室外側の区別があります。樹脂カバー側が室内側になります。
- ・枠部材の上下にご注意ください。枠部材の背面に表示の印が押されています。ご確認の上正しくセットしてください。
2. ガラス寸法は右表の寸法になっています。
3. 先付けグレチャンは障子框に嵌め込んであります。



### ■ガラス寸法

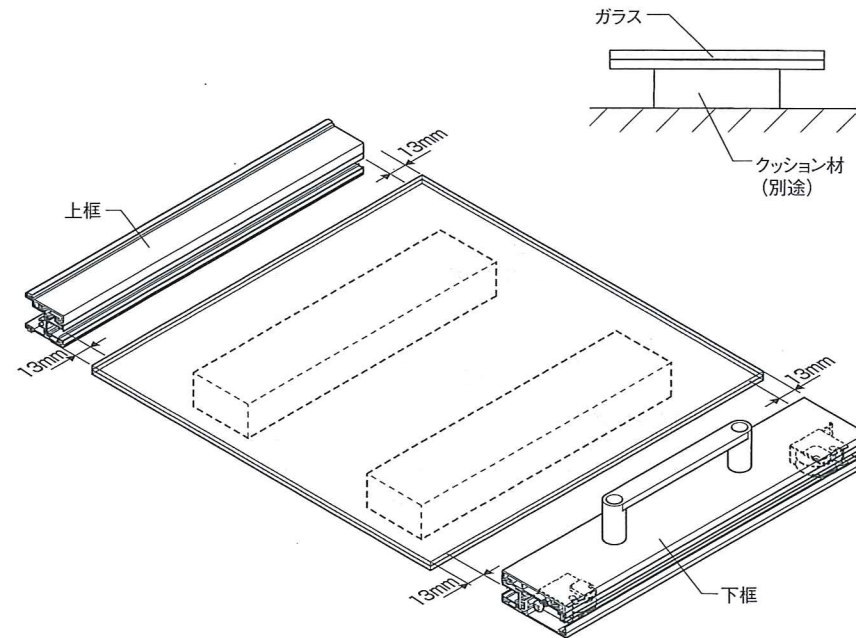
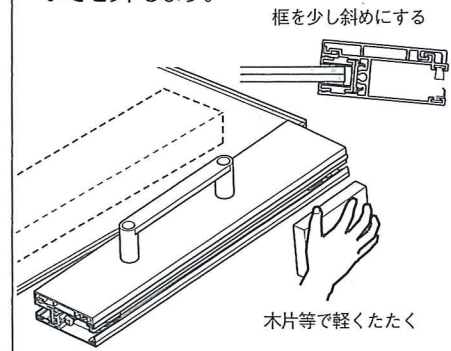
タイプ	std	plus
窓タイプ	W方向→W-41 H方向→H-84	W方向→W-62 H方向→H-85
テラスタイプ	W方向→W-61 H方向→H-106	W方向→W-62 H方向→H-107

## 障子の組立(合わせガラスの場合)

### 1. 上・下框のセット

- 予めクッション材を準備し、ガラスをクッション材の上に水平に置きます。
- 上・下框を先にガラスにセットします。
- 上下框をセットする位置はガラスの両端から約13mmです。定規などを使用してできるだけ正確に嵌め込んでください。

- ガラスは端部から、框を少し斜めにして嵌め込みます。
- 嵌め込みがきつい場合は木片等で軽くたたいてセットします。

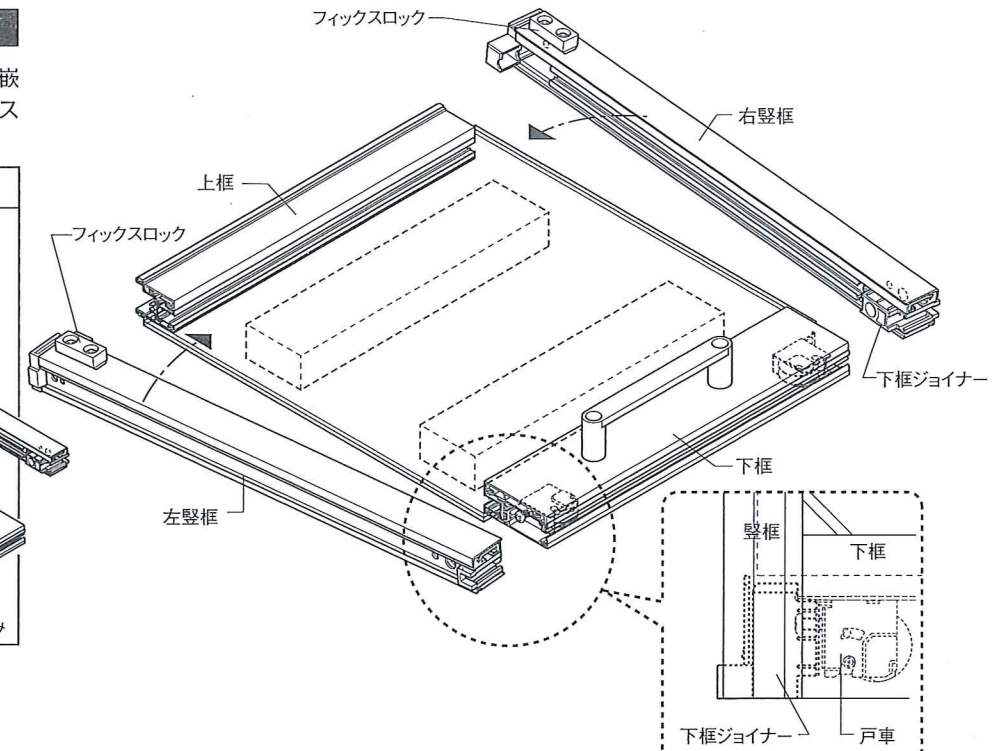
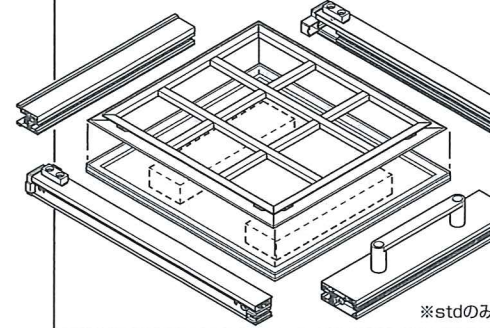


## 2. 縦框のセット

- 縦框の下框ジョイナーを下框の戸車部分に嵌め込み、そのまま回転するようにして、ガラスおよび上框に押し込んでください。

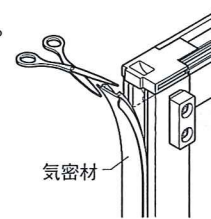
### 組子付障子の場合

- 組子付障子の場合、予め組子をガラスの上に置き、ガラスと一緒に各框を嵌め込みます。



## 3. 框部材の固定・気密材の取付

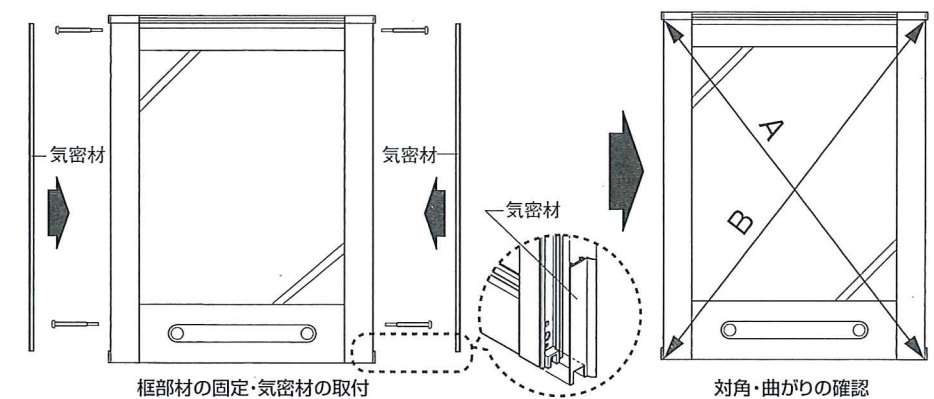
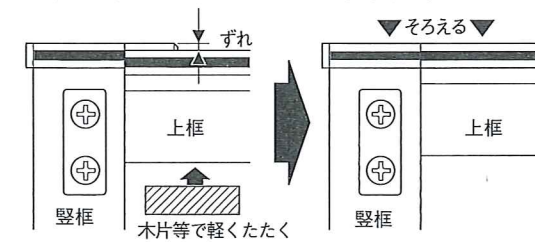
- 組立てねじで各框をしっかりと固定します。
  - 気密材を嵌め込みます。気密材は切欠きがある方が下部です。長めになっていますので、上部をカットしてください。
- ※stdのみ  
(plusは定寸で切断済みです)



## 4. 対角・曲がりの確認

- 組立後、障子の対角・曲がりを確認してください。
- **A・B ≤ 1mm**以内で調整願います。
- 対角が同一でない場合は、木片などで軽くたたいて調整してください。

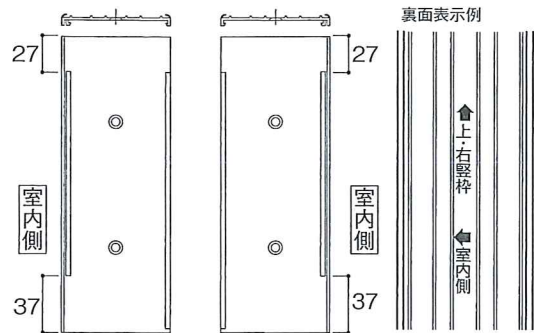
- 上框と縦框がずれているときは、木片等で軽くたたいて位置合わせをしてください。



## 施工要領

### 縦枠の取付

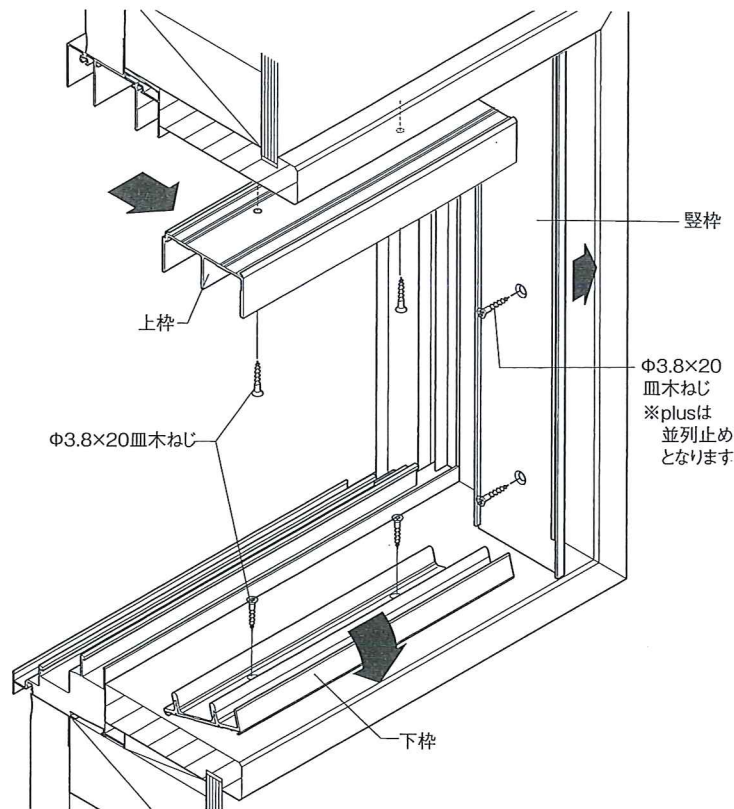
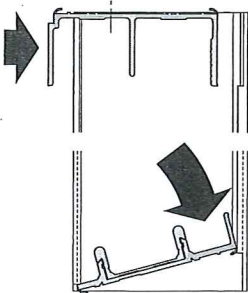
※枠材の上下・左右にご注意ください。(枠材裏面に表示があります。ご確認ください。)



●縦枠を木額縁にセットし、Φ3.8×20皿木ねじで固定します。

### 上・下枠の取付

- 上枠を縦枠間に差し込み、Φ3.8×20皿木ねじで固定します。
- 下枠を縦枠間に差し込み、室内側に回転させるようにしてセットします。下記の指示色のΦ3.8×20皿木ねじで固定します。

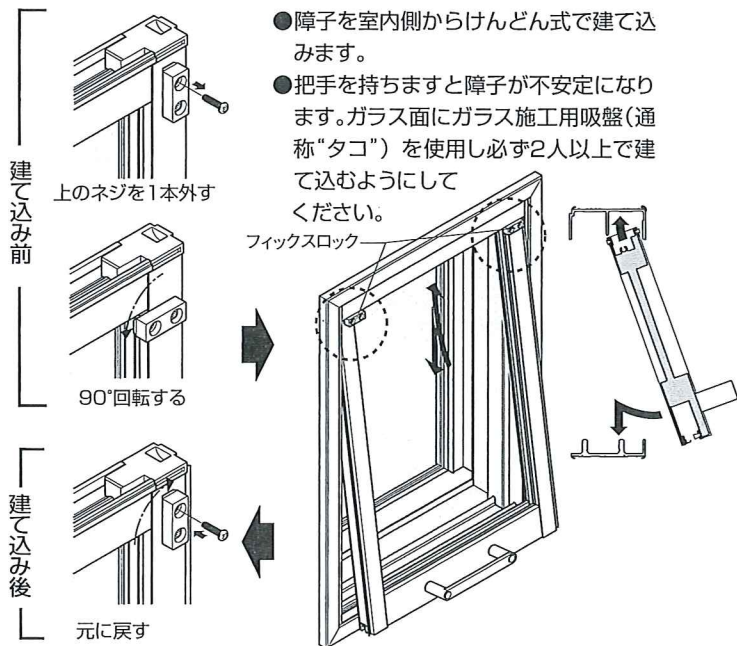


### 縦枠アタッチメントの取付

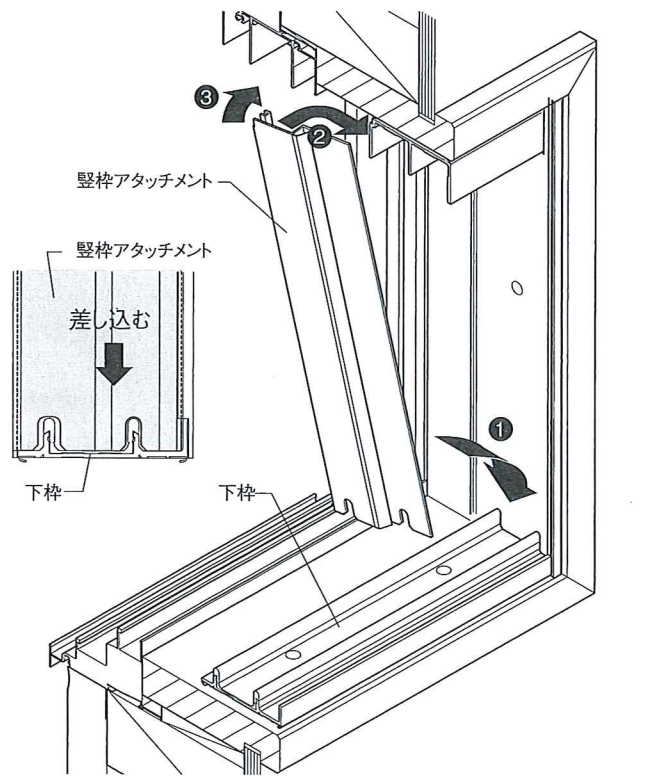
●縦枠アタッチメントを①②③の手順で左右の縦枠に取り付けます。

### 障子の建て込み

●建て込みの前にフィックスロックを下図の手順で操作してください。



- 障子を室内側からけんどん式で建て込みます。
- 把手を持ちますと障子が不安定になります。ガラス面にガラス施工用吸盤(通称"タコ")を使用し必ず2人以上で建て込むようにしてください。

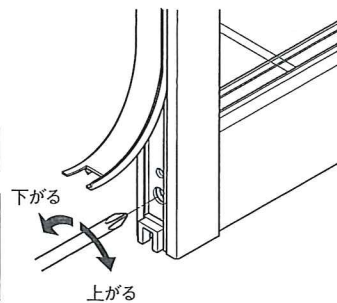


※大型テラスたて枠タイプは上框にフィックスロックが取付きます。この場合フィックスロックを取り外し、障子建て込み後、フィックスロックを必ず取付けてください。

### 隙間の調整

- 縦枠と障子の間に隙間が生じる時は、一旦障子を外して戸車を調整します。
- 縦枠下部の気密材をまくって、Φ8の調整用の穴にドライバーを差し込み、右に回すと障子は上がります。
- 調整後、気密材を嵌め込み、障子を建て込んでください。

タイプ	調整代
窓タイプ	+3.5mm
テラスタイプ	+5.0mm

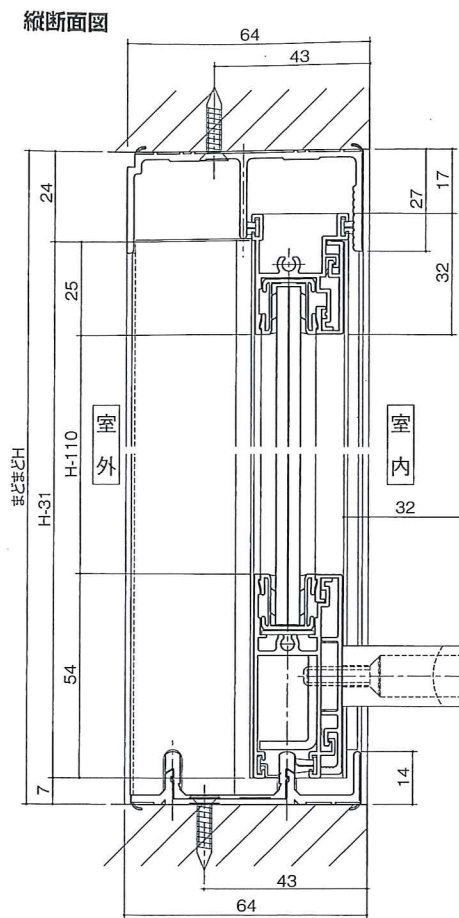


## 基本図(まどまど®std)

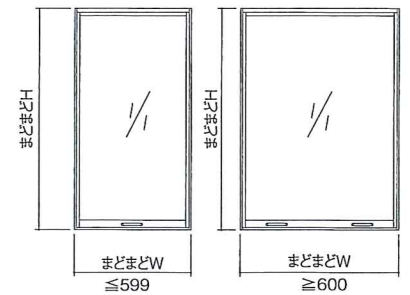
額縁付きの場合は「額縁施工要領書」をご覧ください。

### 窓タイプ納まり

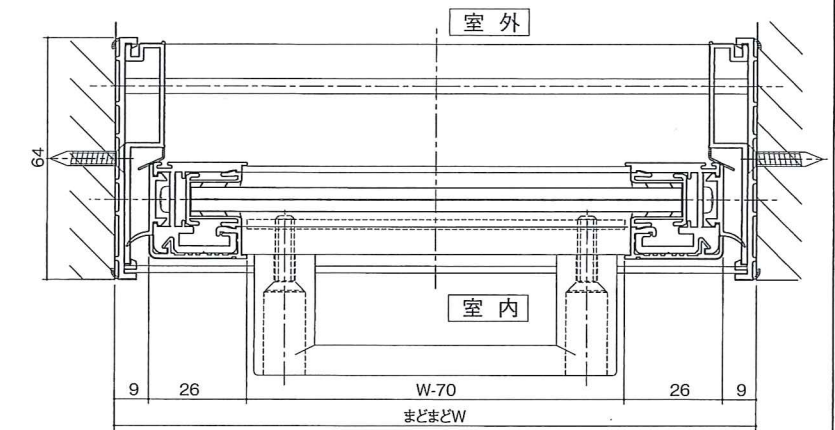
scale 1/2



### 内観姿図

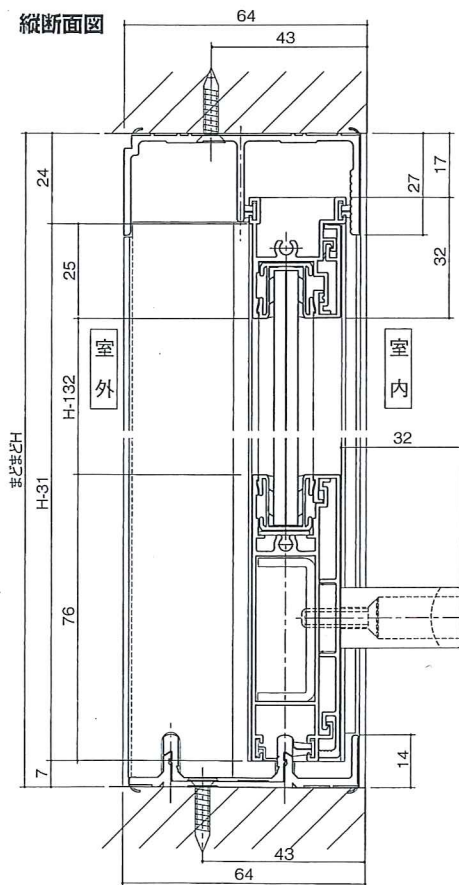


### 横断面図

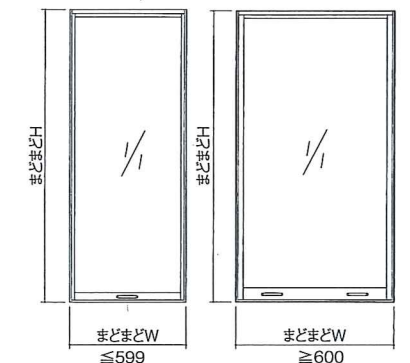


### テラスタイプ納まり

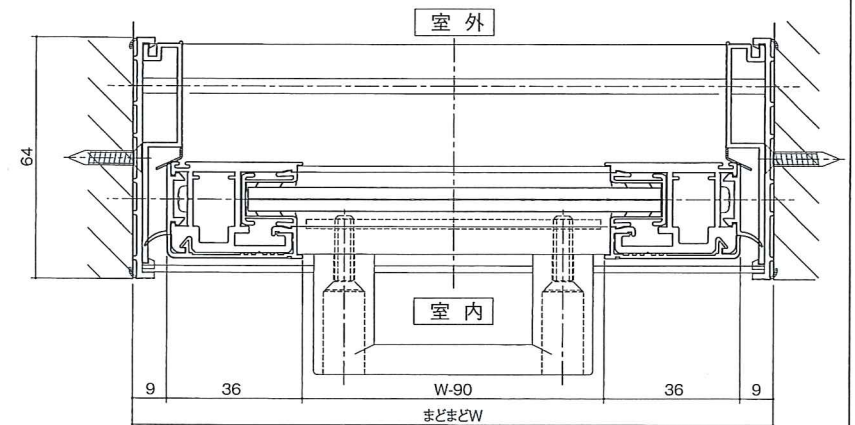
scale 1/2



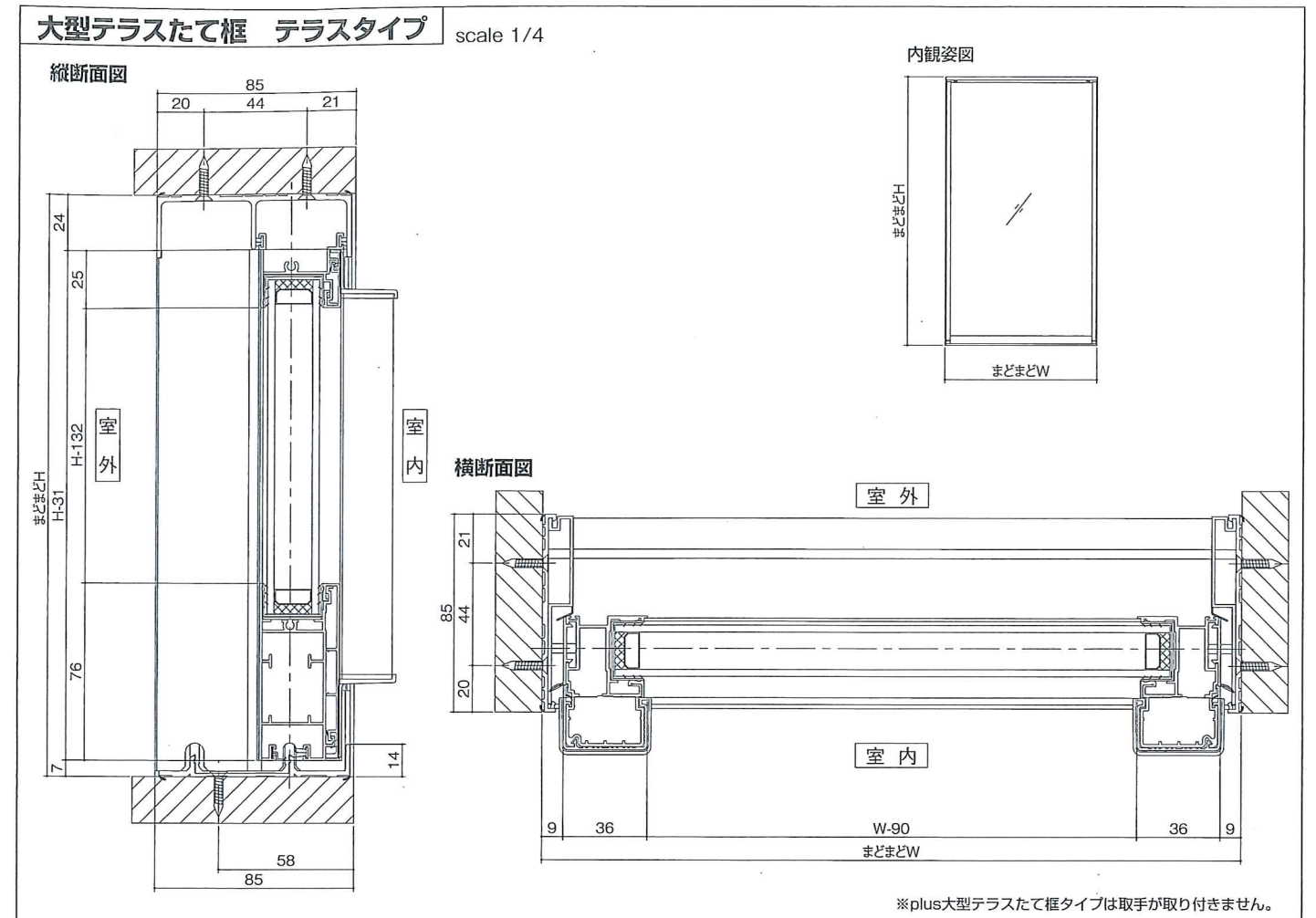
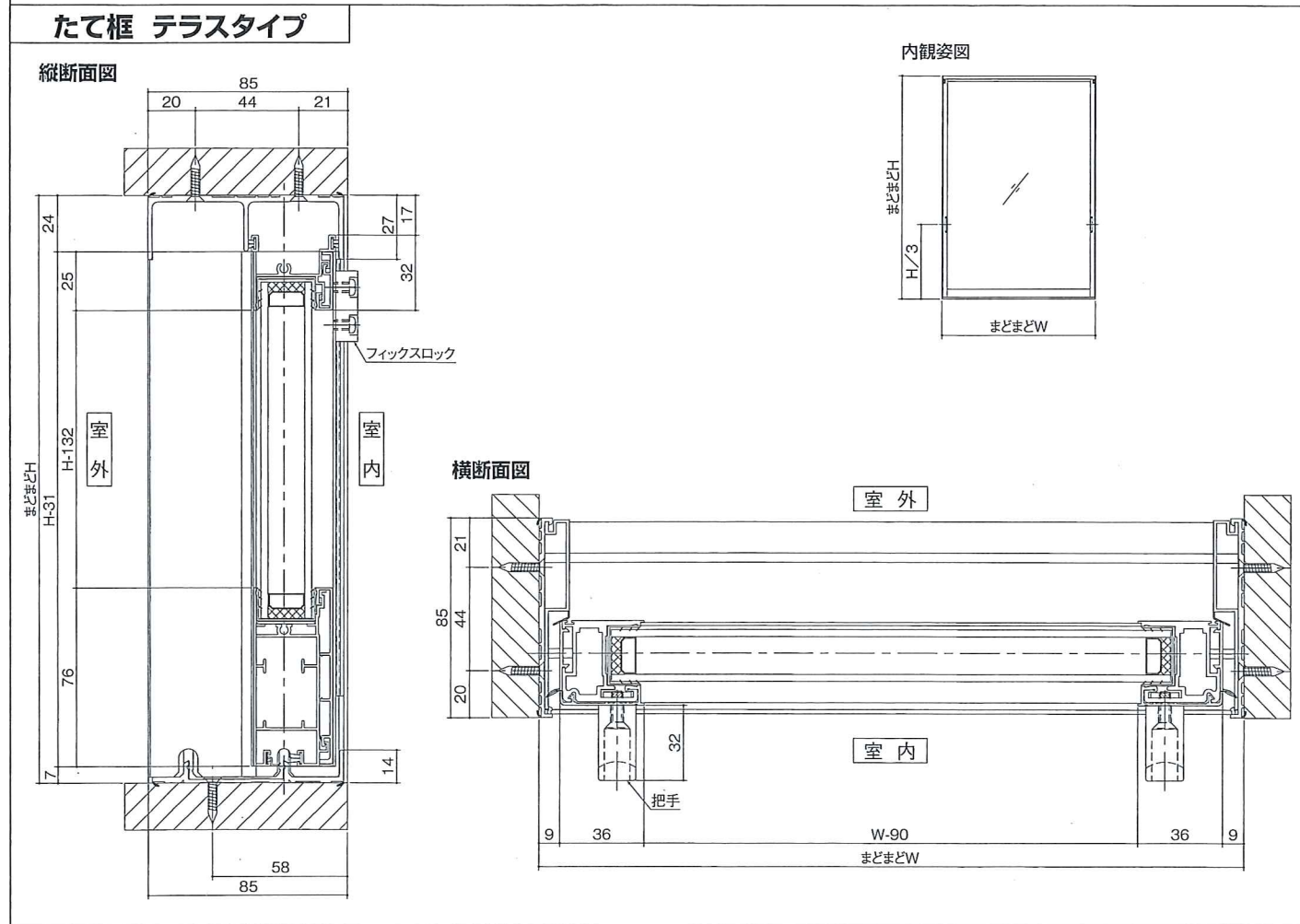
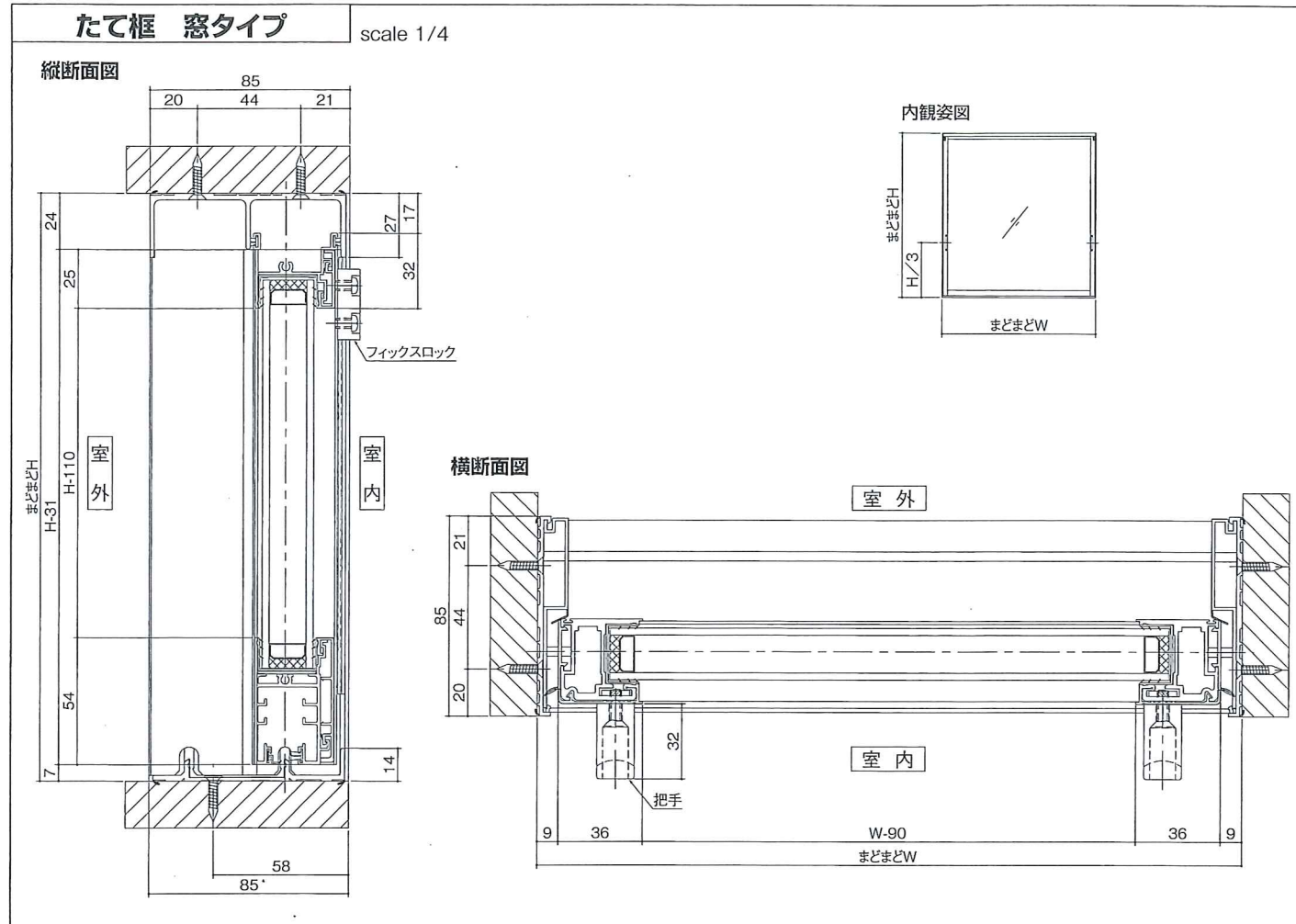
### 内観姿図



### 横断面図



基本図 (まどまど®plus)



※plus大型テラスたて框タイプは取手が取り付けません。